

第160号（平成25年1月20日）



謹賀新年

[illegible]



癸巳歳 新春を迎えて

山梨県神社庁長 羽中田 進

新年明けましておめでとうございます。

平成二十五年癸巳歳の新春を迎え、先ず皇室の弥栄を寿ぎ、国の隆昌をご祈念申し上げますと共に、県下に神鎮まります各神社のご繁栄を祈り、神社関係の皆様方には素晴らしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年中は、神職・神社役員・神社総代の皆様には、神社経営に祭典の振興と神宮大麻暦頒布、神社庁の関係諸事業・行事にご協力を頂き、恙無く遂行でき得ましたことに厚く感謝と御礼を申し上げます。本年も引き続き神社運営と祭祀の厳修に又神社庁の諸事業・行事にご理解とご協力をお願い申し上げます。

今、日本は内外ともに多事多難で極めて厳しい状況にありますが、内にあっては、政治の混乱、経済不況、教育の崩壊、凶悪事件、外にあっては竹島、尖閣諸島、環太平洋連携協定（T

PP）、拉致等外交問題を抱える方向に進むのか不透明ではありますが、諸問題に対処してしっかりした理念を持つて対処することが肝心であります。

今、日本人は日本の美しい心を忘れ、日本人の誇りさえ失いかけております。敬神崇祖・尊皇愛国の精神を自覚せず、利己的になり、思い遣りの心すら忘れていく人々が大勢おります。今こそ伝統と文化を守り、その上に新しい道に進むべきであり和の心を育み、共に協調して日本を良くすることを実践しなければなりません。

教育勅語（一部分）

爾臣民、父母に孝に兄弟に友に夫婦相和し、朋友相信じ、恭儉己れを持し、博愛衆に及ぼし、学を修め業を習ひ、以て智能を啓発し、徳器を成就し、益を広め世務を開き、常に国憲を重んじ、国法に遵ひ、一旦緩急あれば義勇公に奉じ、以て天壤無窮の皇運を扶翼すべし。

教育勅語 意訳

国民の皆さん、両親に感謝と孝行しましょう。兄弟は仲良くしまししょう。夫婦は仲良く協力しあいましょう。友達とは信じあえるようになりましょう。自ら反省して謙虚になりましょう。思い遣りの心をもつて博愛の輪を広げましょう。進んで勉強し智徳をみがきましょう。実力を養い世のため人のために働きましょう。憲法や法律・規則を守り従いましょう。非常事態には国家国民を勇気をもつて守りましょう。いま述べたことは、日本国民としての心得であり美德であります。

明治天皇の教育勅語は日本人の心の支柱であります。神社界が提唱する「敬神生活の綱領」とを合わせて氏子崇敬者に理解いただけるよう努力することが肝要であり、県下一二六六社の神職・神社総代が心を合わせてこの事に当たれば必ず実現することができると信じております。

年頭にあたり県下に神鎮まります神社のご隆盛と、神社関係者各位のご健勝とご多幸を、又ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「国運を

たぐりよせる年に」

神道政治連盟
参議院議員 比例代表（全国区）

ありむら 治子



鎮守の杜を
尊び、厳かな
お気持ちで新
年を迎えられ
ました皆様の

ご健勝を念じ、心をこめて辛多き一年を祈願致します。

大震災をはじめとする天災・人災の国難が続きました。総選挙が終わって間もない今、改めて国難を嘆いてきたエネルギーを、国運を形作る運氣に転換・昇華する年にしたいという強い想いに駆られます。

それぞれのお宮では新年にあたり、歳旦祭、元始祭が執り行われ、皇室の弥栄、国家の隆昌が祈念されていることと存じます。国の興亡とともに、一人一人の人生においても運氣の波があります。楽しい時も艱難に耐える時にも身を慎んでいく中で、一人の人間としての「人格」「人柄」が形成され、その人柄が家族をなして「家柄」を創り、その家々が集落となつて「地域



平成二十五年の新春を迎え

山梨県神社総代会

会長 宮 川 睦 武

平成二十五年の新春を寿ぎ、神社関係者の皆様とともに新年を迎えることができましたことをお慶び申し上げます。

また、皇室におかれまして、平素より大御心を頂いていることは誠に畏き極みであり、益々のご繁栄をお慶び申し上げる次第であります。

我が国経済はグローバル化の中で、欧州経済の破綻や経済大国アメリカの不振、一時の好況に陰りを見せている中国、円高問題などの影響を色濃く受け、暗いトンネルを抜け出せずに、国内企業はこぞって生産拠点を海外に移転し、国内空洞化の様相を呈しています。

また、政治も混迷の度を深めており、約十五の政党が乱立し、政策などの論争を繰り返しています。私も齢八十五を迎え過去を振り返りみて、そのときその

場で新しいものを生み出してきた本来の政治のあるべき姿は、今は無く空虚感を覚えざるを得ません。沖縄の基地問題や中国など近隣諸国との外交、領土問題、国家財政の問題など多くの課題を残す日本の混迷を助長しかねないと危惧されます。

今年の干支である巳（蛇）は、天地創造の昔から、知恵、財産をもたらず神様として、信仰の対象となっています。また、巳年は、「蛇が冬眠から覚めて地表に這い出した姿」を表すともされ、「従来の生活に終わりを告げる」という意味を持ちます。我が国の政治の混迷や経済の低迷といった暗く厳しい時代に終わりを告げ、新たに希望に満ちた時代が開かれることを切に願います。そのためには、一昨年の大災害を教訓として後生に確実に伝えつつ、敬神崇祖の念を

基にした国民の一致団結が不可欠と感じます。今こそ、祭祀にいそしみ、世のため人のために奉仕し、大御心をいただき、日本の国の隆昌と世界の共存共栄を祈りつつ、歩んで行かなければならないと考えます。

今年は第六十二回伊勢の神宮式年遷宮がとり行われます。平成十七年から始まった二十一年に一度の大事業も、いよいよ大御神が旧殿から新殿へ遷る「遷御」をむかえます。私も神社関係者の一人として、この遷宮を契機に新たな時代に向けて、皆様と共にさらなる信仰心をもって祭祀に取り組んで参りたいと存じます。

最後に、皆様の今年一年が厳しい中にもよるこびの多い年と成ることを信じ、県内の千二百六十六社に祀られている神々のご加護を頂き、日本の国が栄え、皆様にご加護を賜りますようお願い申し上げます。皆様の心で鎮守の氏神様のご繁栄、ご多幸を祈念し年頭の挨拶といたします。

柄」を生み、その地域が集まって「国柄」が醸成されていきます。この風土や国柄に想いを馳せる時、「では、どうやって国運を上げることができるのか」という時代が求める命題に自ずから突き当たります。

国運をなす国力とはすなわち、国民一人一人の運氣や力を国民の数だけ紡ぎ合わせた総合力だと、近年強く実感するようになりました。国民それぞれが自主独立の志と勤勉を尊び、子女に生きていく為の能力を伝授していかなければ、国運や国力は体をなしません。近代国家を建設した父祖達が、自らの生存と国家の存亡を重ね合わせて全力で苦難に立ち向かっていった人間像を遺していかれたように、今を生きる私達も、自らの運氣と国運とを重ね合わせて生きる鍊度を上げていきたいものです。

本年夏に行われる参議院選挙比例代表（全国区）に向けて、神道政治連盟から全国における単独候補としてご推薦を賜りました。「神道の精神を国政に、日本の心を政策に」と心に刻み、これからもまっすぐに命の重み、家族のきずな、国家の尊厳を守る活動を全力で進めて参ります。

平成二十四年度神社関係者大会

平成二十四年度の神社関係者大会が昨年十月二十二日、コラニー文化ホールにて開催された。

第一部の神宮大麻暦頒布始祭が、南都留支部（小佐野正史斎主以下五名）と神道雅楽会（秋山忠也会長以下六名）の奉仕により斎行された。祭典の終わりに神宮大麻・暦が小佐野斎主より頒布奉仕者代表（渡邊學北都留支部長）に授与された。



第二部は、平成二十四年が神宮大麻頒布百四十周年にあたることから、神宮大麻暦頒布推進対策大会が行われた。神宮の相見和紀欄宜より御造営の進捗状況などについてお話をいただいた後に、神宮大麻百四十周年記念DVDを鑑賞、次いで小山利行甲府支部長より決意表明が読み上げられ盛大な拍手で承認された。

第三部の式典は藤本副庁長の開式の辞で始まり、神宮遥拝、敬神生活の綱領唱和、物故者への黙祷の後、羽中田庁長より式辞が述べられた。次いで、宮川総代会長の挨拶があった後、主事より庁務報告がなされた。

功績表彰では、神社庁表彰規程に基づき厳正なる選考、審査により決定した、平成二十四年度山梨県神社庁規程表彰者九名が登壇し、羽中田庁長より表彰状が授与された。

次に、神宮大麻全国頒布百四十周年記念表彰者として、神宮大麻頒布に長年尽力した優良者の二十名、優良支部の三支部、



特別協力団体の二団体を代表して、土橋勝夫武田神社宮司、国母熊野神社総代会、飯田八幡神社総代会、立石神社総代会が登壇し、神宮大宮司様ご名代の相見和紀欄宜様より表彰状が伝達された。

次いで神社界に特別な功績があった、株式会社アルソア本社代表取締役の滝口友樹哉様と日本会議会員の白砂京子様のお二方に対し、羽中田庁長より感謝状が贈呈された。

次いで来賓の祝辞があり、神社本庁統理北白川道久様（ご名代宮川脩理事）、神宮大宮司鷹司尚武様（ご名代相見和紀欄宜）、衆議院議員 坂口岳洋様、

神道政治連盟山梨県地方議員懇談会会長の県議会議員高野剛様の四名の方が、それぞれの立場から祝意を表した。

来賓の方々の紹介、祝電披露の後、披表彰者を代表して、笠屋神社の野中陽宮司より謝辞があり、次いで、千野利雄総代会副会長の先導により聖寿の万歳が奉唱され、中田欽哉総代会副会長の閉式の辞によつて滞りなく大会は幕を閉じた。

神宮大麻、暦頒布始祭

神宮大麻頒布増進については様々に対策が講じられ実践されていて、頒布数減体に楔が打たれている。神宮大麻全国頒布百四十周年に当ることもあり、改めて神社界一丸となり増進に向けて更に励むべく、平成二十四年度神宮大麻暦頒布始祭が、過日山梨県神社関係者大会の第一部としてコラニー文化ホールに於いて斎行された。今回は、南都留支部当番で、小佐野正史富士山小御嶽神社宮司が斎主となり五名の奉仕により恙無く執り行われ、神宮大麻と暦が頒布奉仕者代表に授与された

被表彰者抱負

神職二十一年をふりかえり

武田神社 権禰宜

網 倉 五十鈴



この度の神社関係者大会に於いて、山梨県神社庁規定表彰を戴き、誠にありがとうございます。感謝いたします。

二十一年前に亡父の時からお世話になっております、甲州市の菅田天神社宮司の今澤俊次先生の推薦をもらい、国学院大学での講習会を受け、直階を授かりました。

その年平成三年に、再度今澤先生の御蔭で武田神社に奉職する事ができました。何も分らない私が武田神社にお世話になり早二十一年、その後平成八年には大阪国学院の通信教育にて権正階を戴き、兼務社である甲州市の神社の宮司を拝命しました。今回の表彰を受け、まだまだ神職として未熟である私ですが、諸先生、先輩の御指導を仰ぎ、日々精進して行きたいと思っております。誠にありがとうございます。ありがとうございます。

神社庁規程表彰を受賞して

浅間神社 権禰宜

植 松 真 芳



去る十月二十二日に開催された平成二十四年度山梨

県神社関係者大会に於いて、団体及び個人数百名が表彰された。その中で神職九名が神社庁規程表彰を受賞し、図らずもその一人として登壇し表彰の栄に浴しましたことは身に余る光栄に存じます。

國學院大學を卒業後、神奈川県の別表社に奉職、新人の無知蒙昧な私に宮司様始め諸先輩の皆様がこれから指導下さいました。毎朝の日供祭に始まり境内清掃、祈願祭、参拝者への応対、総代会、崇敬会等の対応等々、特に真夏に盛大に斎行される例

大祭 神輿渡御では、早朝発興するや吹き出す汗が止まらず狩衣にまで浸み出し、体力を奪い、新人の生ぬるい精神が汗と共に一掃されたことを記憶しています。一方氏子の皆様には親しく接して頂き、年間の祭事行事についてよく意見交換し、特に神輿の話題になると話が尽きる事

は無く、篤い崇敬の念がたわつてきました。又神道青年会にても活動の場を頂き、県内外の青年神職と交流し、信頼ある仲間づくりが出来た事は洵に有難く、これからも此の繋がりを大切にしていまいりたいと思っております。

平成二十年四月に浅間神社に奉職、山梨に戻り四年の時が流れようとしています。あと数年で人生の半分を神職として過ごす事となりますが、大過なく今日を迎えているのは大神様のご加護と諸先輩よりのご教導あつての事と感謝に堪えません。此の受賞を機にこれまでの教導を礎とし「明き清き直き正しき心」を以て、氏子崇敬者に親しまれ信頼される神職となるよう研鑽を積み、日々神明奉仕に勤しんでまいれる所存です。

受賞に寄せて

玉諸神社 総代

中 込 豊 秋



〃祝祭日には国旗をたてませう〃と神社庁の封筒の裏にあります。

ります。

〃その国の伝統、文化を粗末にする国滅ぶ〃と言われるが、近年アフガニスタンは古い大きな石仏を爆破するのを観て実感しました。日本は今領土問題で北方四島、竹島、尖閣諸島等に対して怒りを覚えるのは私だけでしょうか。学校教育でそれらの歴史を教えない国は我国だけと言われて久しいものがあります。

また国旗に対しても日常生活のなかで忘れられ家庭での掲揚の数は非常に少ないです。私は受賞のこの機会に神社に奉祀する一人として〃町内に国旗を掲げよう〃と運動〃を実施して参り度いと思っております。竹内総代と図り近所、友人、親戚と徐々にその輪を広げ三年後には目標達成を期しております。願わくば県内神社関係者各位に係る展開される様提案申し上げます。更に企業への運動も如何ですか。

私は思う。今やらなくて、いつ誰が実行しますか。今日を生きたる我々の責務でしょう。行動こそ最大の説得力と思う。思いを記して失礼します。

山梨県神社庁神殿新嘗祭

北都留支部長 渡 邊 學

去る十一月十四日、午後一時三十分、山梨県神社庁神殿において平成二十四年新嘗祭が斎行された。

神殿には、羽中田進山梨県神社庁長、小林弘樹県総代会副会長はじめ、県内神職、氏子総代、神社関係者多数が参列の下、北都留支部神職の奉仕により斎行された。

斎主中村宗彦牛倉神社宮司、副斎主藤本文彦八幡神社禰宜、祭員天野武大神社宮司、鈴木晃一宮神社禰宜、典儀渡邊學春日神社宮司と、雅楽は、山梨県神



社雅楽会が行い和琴秋山忠也、鞆鼓内藤寛、太鼓中川武仁、鉦鼓金子寿元、笙松田公仁、箏篠原康正、竜笛岡田美佐子各氏の奏楽の中斎主以下祭員が参進著席して祭典が始められた。始に修祓、祓詞奏上後大麻、塩湯にて神饌、玉串、参列者が、祓い清められた。次に斎主一拝に

続いて開扉、次に御米、御酒を始種々の神饌が本殿に供ぜられた、次に斎主が祝詞奏上し、玉串拝礼、斎主以下祭員の拝礼、次に羽中田庁長に合わせ神職が拝礼、次に宮川総代会会長の代理小林弘樹総代会副会長に合わせ総代が拝礼を行い、次に撤饌、閉扉、次に斎主一拝、斎主に合わせ全員が一拝し奏楽の音色の中、斎主以下祭員が退下し、秋の収穫に感謝する神殿新嘗祭の神事が厳肅な中滞りなく斎行された。

神道政治連盟全国選挙対策委員会に参加して

神道政治連盟山梨県本部

幹事長 渡 邊 平 一 郎

去る十一月三十日神社本庁大講堂に於いて、全国選挙対策委員会が開催された。野田総理の突然の衆議院解散を受けての開催でした。委員会では後藤選対委員長挨拶があり、十二月四日告示、十六日投票になる旨のお話と、我々の目指す目標を実現するために今回の選挙において、是非とも自民党が安倍総裁のもとで政権を奪還できる様各県本部の尽力を賜りたいとのこ

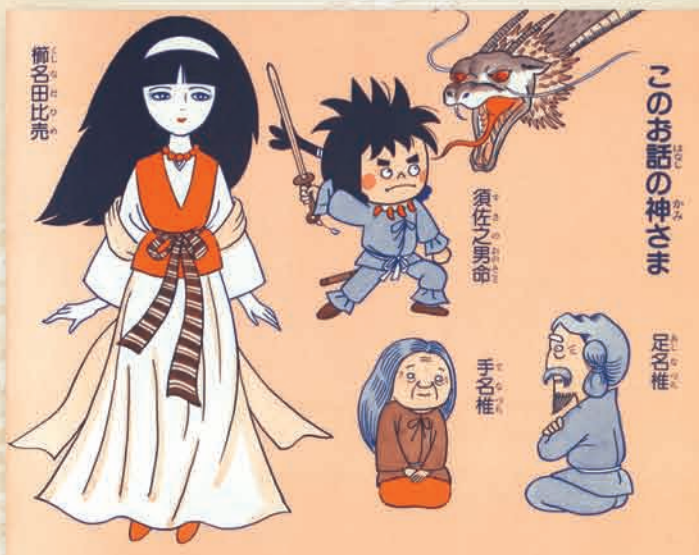
とでした。次に来賓で迎えられた石破幹事長の挨拶があり、今回の選挙での政権奪還の意気込みと、民主党政権下での震災復興の対応や様々な失政、民主党政権そのものが政治空白であり日本国の為に自民党に支援をとのことでした。会議の中で第四十六回衆議院議員選挙における候補者の推薦についての説明、推薦基準や神道政治連盟の活動方針に則った十一項目に対し積

極的に協力する旨の公約書の提出を求めるなどの説明がありました。

さて我が山梨県本部では、推薦基準に則り、又各候補に公約書の提出をいただき告示日前日、神道政治連盟中央本部と山梨県本部の推薦状と必勝の為書を宮川典子、中谷真一候補に、必勝の為書を堀内の子、長崎幸太郎候補に届けに参りました。宮川、中谷両候補事務所には本人がおり感謝と力強い言葉をいただきました。結果はご承知の通り自民党の大勝となり、本県でも皆様の協力により我が県本部の応援した四候補全員が当選いたしました。しかし衆議院では自公が三分の二の議席を獲得したものの参議院ではまだ少数与党です。今回の委員会のもう一つの議題でありました第二十三回参議院選挙において過半数を確保しなければなりません。神道政治連盟の統一候補である有村治子参議院議員の応援は当然であります。本県の、そして山梨県本部の顧問でもあります赤池誠章元衆議院議員も共に応援しながら是非とも当選いただき、神道政治連盟国会議員懇談会会長である安倍総理の唱える強い国日本を皆で取り戻したいと考えます。

まんが古事記

やまたのおろち (第三話)



お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木二―一二

神社本庁内

電話 〇三―三三三九―八〇一一

一冊 一二〇円

あらすじ

高天原でいた

ずらばかりして

いた須佐之男命

は、天照大御神

さまのお教えに

よって、りっぱ

な神さまになる

ために旅に出ら

れました。

命が出雲国の

肥の河のあたり

までこられると、

上流より簀が流

れてきました。

命は上流にだれ

か住んでいると

思い、川に添っ

てのぼっていく

と、そこには

足名椎・手名椎

の神が娘の櫛名

田比売をいだい

て泣いていました。

そこで命は、

足名椎からおそ

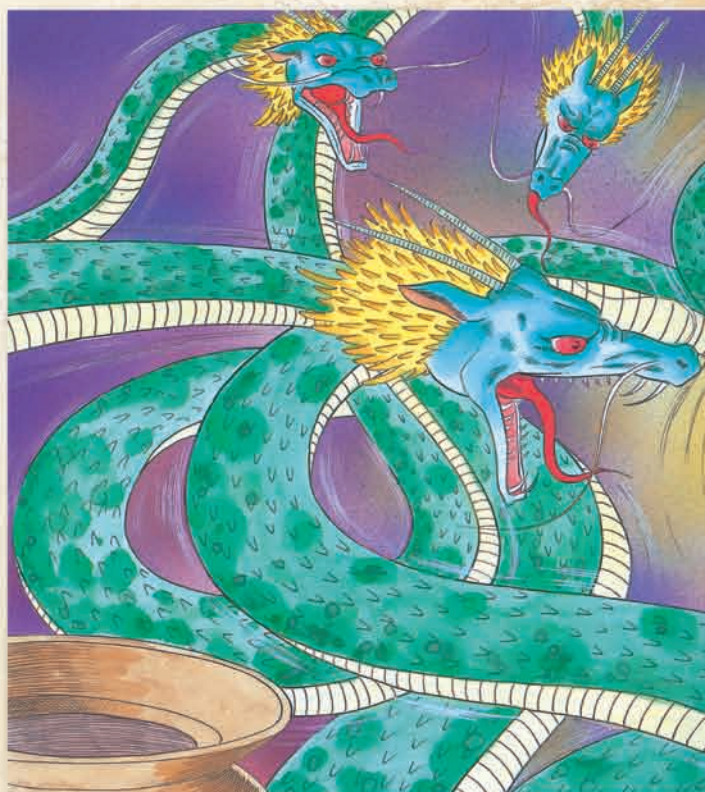
ろしい八咫の大

蛇の話聞かさ

れるのでした。







(一六二号 第四話へ続く)

全国教化会議に参加して

教化委員長 古 屋 真 弘

恒例の全国教化会議が去る十一月八日、九日の両日神社本庁で全国からの教化担当者約七十名が参集し開催された。

本年度の主題「統一性のある教化活動の展開を目指して」を骨子に二日間に渡り、分散会、全体会と会議は進められた。

初日、教化会議としては初めて特別講演として彬子女王殿下の「日本の文化を未来に伝えるために」と題された御講演を拝聴し伝統文化との接点を日常生活に取り戻すところのお考えの中で、御自身が発起人代表を務める「心游社」の活動について紹介された。次に基調講演を評論家で現在伝統文化活性化国民協会の評議員

会議長をつとめる加藤秀俊氏が「メディアの発生」と題して公演し、神仏と人をつなげる、言うならば聖と俗



をつなげるのが神職でありそのための装置が芸能であると話された。

講演後、神社本庁原田教化部長から本庁の教化施策の説明があり、引き続き埼玉、山口、富山の各神社庁から活動報告がなされた。

この後、四つの分科会に分かれ各県の活動事例をもとに「神宮奉賛活動と神道の自然観の啓発」「鎮守の杜を舞台にした伝統文化の継承」などについて意

青少年対策研修会を受講して

石和八幡宮 宮司 土 橋 英

子供の頃、父の奉務社の裏山で友人達とよく遊んだ記憶がある。「御室山」といふ名が表すとおり、古代より神霊の籠もる山、帰幽した地元の人々の御魂が籠もる山として崇められて来た、いわば神社の御神体そのものとも云うべき山である。その森で遊ぶ私達は、いつかしら伝説とも云える共通の認識を持つようになった。「この山で悪さ

をすると上から骸骨が降ってくる。」地元の古老が「危険な遊びはするな。」と戒めで言ったものなのか、さても本当に古来よりそのような言い伝えがあったのか、何処からの情報であったか、数十年経った今となつては定かではないが、当時この山の名の意味すら知らなかった私達は、仲間の一人が思い出したように呟くと、皆何とも云えぬ

恐怖心が込み上げ、一目散に山を駆け下りたものだった。

少年期におけるこういった感性や自然感とは、神道の自然感、言うならば日本人の持つ独特の自然感の原点ではなからうか。鎮守の杜（森）を体感することにより、その崇高さを再認識し、自然との共生や森が悠久の歲月をかけて護り伝えて来た「生命を繋ぐ」ということの尊さを再認識する。それを次世代を担う子供達に伝えて行くには、自身自身子供の頃の感情を思い起こし、もう一度森を感じ取ってみる。四季それぞれに趣きを変えてこの国の自然は、私達に何を与えてくれるのか、お互いに学び合う心で接することが大切ではないか。今研修会の中で、清里の森を歩く私に、風にそよぐ木々達がそう教えてくれた。



新 参 与 所 感

新参与所感

伊 藤 裕 久

図らずも神社庁参与の委嘱をお受けし、大変有難いことと感謝し喜んでゐる。ところで、「参与」とは？今迄の漠然とした認識を改め、己れの自覚を深めるために辞典を開いてみた。

①ある事業などに加わって協力すること。②学識経験者を行政事務などに起用する時の役職名。③会社などでの役職名。とある。だが、これだけの説明では何か物足りない。ついでに漢和辞典で「参」・「与」を引いてみた。ある、ある。両字とも沢山のいい意味を含んでいる。それらを踏まえて私なりにまとめれば、仲間として参加し、親しみ、時には従い時にはゆるし、互いに助け合い、与え合うことだ。それが「参与」の真の意味であり、役割であると得心した。

すでに顧問・参与として輝かしい実績を積んでこられた先輩諸賢のご教導を仰ぎ、学ぶべき点は貪欲に取り入れ実践に生かしていきたい。私達の精神生活の源泉―神道に学び神道を伝える役割を果たしたいと思う。

地域之神職として

野 中 陽

この度、参与として認めていただくこととなりました。現在神職歴四十年六十二才、父から受継いだ二十三神社の宮司として御奉仕しておりますが、改めて気の引き締まる思いであります。

昭和四十八年に大学を卒業し町役場に勤めると同時に笠屋神社宮司として就任。神様により多くお仕えしたい気持ちには強くあるものの、公務員生活も結構多岐に渡り、思うような神明奉仕とは言いがたいものでもありました。反面。自治体職員としては、幸いなことに地域の皆さんとの関わりが多く、神社の中にいただけでは伝わってこない事など多様な社会を見ることができました。「まつりごと」を多少なりとも体感実践できたと思うところもございます。今自治体退職の過渡期に当り参与として迎えていただきました。これを契機に今まで以上に地域や氏神様の元で、きめ細かい神社活動ができれば幸いと考えております。諸先輩や広く神社活動をなさっている皆々様の御指導をお願い申し上げます。

神社庁顧問参与会

恒例の神社庁顧問参与会が十月十日、甲府の談露館で開催された。

第一部の例会では、羽中田庁長より新参与五名に委嘱状が交付され、羽中田庁長、宮川総代会長よりご挨拶をいただいた後に、飯田主事より神社庁事業概況報告が行われた。

第二部では、山梨県企画県民部国民文化祭課総括課長補佐の萩原憲二氏より「富士の国やまなし国文祭開催概要について」というテーマで、来年本県で開催される国民文化祭についての講話をいただいた。

第三部の懇親会は、終始和やかに懇親を深め、盛会裡に終宴した。

.....

教誨師教養研修会に参加

教誨師 佐々木 高 仁

東京都神職教誨師会（会長平岩昌利庁長）が主催して、東京矯正管区内神社本庁教誨師を対象に教養研修会が、去る十月十九日、神社本庁地下会議室で開催され、参加してきました。

今年で二回目となり、関東甲信越静の十都県の本庁教誨師が対象で、当日は二十名が参加しました。

平岩庁長の挨拶の後、栃木刑務所教誨師で太平山神社の小林一成宮司の「女性被収容者に対する教誨について」の講演を拝聴した。氏は年間約五十日も施設に通い、女性犯罪者の更生に向き合っている。犯罪の裏側にある心の中にあるものを聞き出すことが重要であると話された。

次に法務省矯正局少年矯正課企画官の小山定明氏は「少年院法の改正について」を講演。少年院を出所してから多い事を指摘した。最後に法務省保護局更生保護振興課専門官の林寛之氏が「更生保護について」を講演。更生保護全般の現状や今後の課題・対策について述べられた。



『新編 山梨県神社誌』発刊

山梨県神道青年会
会長 田 邊 将 之

この度当会は『新編 山梨県神社誌』を発刊致しました。同誌の「発刊の辞」にその経緯等を掲載してございますが、本紙面では少し主観的なお話をさせていただきます。

『山梨県神社誌』初版は昭和六十年九月、私の亡父である時の田邊瑞彦会長長期に編集発刊がなされました。以来二十年以上が経過し、父も生前折々「時間が経つにつれ『山梨県神社誌』の内容が段々現状と一致しなくなっている、若い者たちの力で再編をして欲しい」と言っておりました。私も時期が来ればこれをやらなければならぬと漠然と考えてはおりました。そして機は熟し、私の神道青年会長就任が決まると拍車がかかったように周囲からこれを期待されるようになりました。そして平成二十二年二月、第一回創立六十周年記念事業実行委員会が開催され、当会は史上稀に見る大事業を展開することとなったのであります。

今だから言えますが、当時は「本当にこんな大事業を完遂することが出来るのか」と毎日張り裂けそうなくらい不安で落ち着かない気持ちでございました。また、再編をしてみると何でも何から手をつけて良いのかさっぱりわからず、会員の知恵や力を借りる場面も多くありました。そしてまず一年間で初版の神社誌の原稿をすべてパソコンに入力し、それを印刷したものをご各宮司に校正してもらい、神社撮影はこれと並行して行い県内鎮座全ての神社の撮影を目指す、ということになりました。神社撮影については、山梨県内全市町村分のゼンリンの住宅地図を購入し、支部ごとに神社名簿と地図を照らし合わせながら鎮座地を確認し、周到に準備をしてから撮影に出掛けることにしました。これが一二六七社あるわけですから気も遠くなります。撮影は総日数にして一カ月以上掛かりましたが、一班二〜三名の編成で多い日は四班体制にて行いました。険しい山に登ることも多く、その日の撮影が終了するともうクタクタでした。今回画期的だったのが編集作業に

於いて「ドロップボックス」を利用したことでした。これはウェブ上で複数人数が遠隔から写真等のデータを共有し編集保存出来るという大変便利なもので、災害救援等世界中で利用されているサービスだそうです。斯くして約三年という長きに亘り、原稿校正、神社撮影、編集作業を重ね、本年十月三十一日発刊に至った訳でございます。ご協賛ご協力を頂いた方々に厚く御礼を申し上げますと共に、会員の尽力に対し心より慰労と表敬と感謝を致し報告とさせていただきます。

全国敬神婦人大会に

参加して

敬神婦人会南都留支部

中 村 政 代

国立京都国際会館を会場に、第六十三回全国敬神婦人大会が十月三十一日開催されました。

本県からは、乙黒会長以下三十六名が参加し、薄明の甲斐路を後にバスにて会場に到着、会場入口にてお会いした他県各会の皆様が清々しく輝いている様子には一瞬緊張を覚えました。



開式前の芸子衆による特別清興のご奉仕には京都の風情たっぷり、いやが上にも会場が興奮の坩堝と化し、素晴らしい幕開けとなりました。

式典、会務報告、協議、大会宣言を採択し会は閉じられました。明けて、平安遷都の際、都の南に国の守護神として創建された方除の大社白南宮にて正式参拝、伏見十石船に分乗し宇治川を渡り月桂冠大蔵記念館を見学、京都を後に帰路に着く。

一泊二日の旅程ではありませんでしたが、大会に参加して私達の向うところがより鮮明に刻まれたような気がします。

次期大会は、出雲の国島根県で開催されますので、また皆様と共に参加したく願っています。

祭典を斎行して

酒折宮

宮司 飯田直樹

十月二十日、二十一日に、御祭神の日本武尊御鎮座壱千九百年奉祝記念大祭を斎行した。二十日の前日祭では、拝殿前の特設舞台において氏子子女による浦安の舞や、元宮内庁楽師芝祐靖氏による酒折宮御神楽之儀が奉納された。

二十一日午前九時、総代を始め、羽中田庁長、宮川総代会長、



小串熱田神宮宮司（ご名代川崎欄宜）、地域諸団体代表を始めとするご来賓の参列を賜り記念大祭を斎行した。午前十時より子供神輿が氏子地域を渡御、午後からは氏子による大正琴、歌謡、詩吟、舞踊、落語を始め、山梨学院高校チアリーダー部、よさこい演舞、サドラム、カポエイラ、ファイヤーパフォーマンス和火等の奉納、境内には竹かぐや、芸術家の作品、書道、短歌等が展示され、多くの参拝者で賑わった。

この祭典を斎行するにあたり、御祭神の御神威の更なる高揚と氏子崇敬者の益々の愈栄をお祈りするとともに、百年後に繋がる祭典にしたいという宮司の思いにご賛同いただいた神社役員、氏子崇敬者、奉賛者、奉納者各位に厚く御礼を申し上げます。

大嶽山那賀都神社

宮司 日原盛幸

山間僻地の当社では、大祓を八月第一日曜日に変更して今年



で三十余年になる。

「夏休みなら家族連れの参加が可能」と考えたからだ。従って時間も「夕日の落ち・・・」ならぬ午前十一時に行われる。当初百五十名程の参列者が年々減り近年は七十名前後。然し今回は百五十名。と云うのも昨年六月、二年余を懸け完遂した御社殿大改修の『奉祝オカリナコンサート』を催したからだ。参拝者の満足げな横顔にちょっぴり心満たされる祭となった。

祭典日程

2・3	横近習大神宮例祭並節分祭 甲府市住吉神社節分祭 大嶽山那賀都神社節分祭 市川大門町表門神社一之酉祭典 富士吉田市上暮地神明社節分祭 甲府市中央神明社追儺祭
2・8	稲積神社針供養祭 御坂町二宮美和神社湯立祭
2・9	稲積神社初午祭
2・11	南アルプス市藤田八幡社紀元節祭 中央市布施八幡見神社祈年祭
2・16	都留市生出神社祈年祭
2・17	稲積神社祈年祭 酒折宮祈年祭 葎崎市穴山町穂見神社祈年祭 新倉富士浅間神社祈年祭
2・21	大泉町逸見神社祈年祭
3・3	下宮地神部神社舟引祭
3・10	甲斐國二宮浅間神社講社大祭、山宮神幸祭
3・15	甲府市中央神明社例祭
3・20	一宮町橋立甲斐祭神社春季例祭
3・24	富士川町天神中條天満宮祭
3・29	甲州市勝沼古宮太神社春季例祭
3・30	甲州市塩山神部神社例祭
3・31	甲斐市篠原八幡神社例祭
4・3	山梨市唐土神社例祭 牧丘町北原神明社例祭 石和八幡宮春季例祭
4・4	南アルプス市吉田諏訪神社春祭
4・5	牧丘町菅神社例祭 八代町北熊野神社春季例祭（五日）
4・6	山梨縣護國神社春季大祭
4・7	八代町永井天神社宵祭
4・7	鈴宮諏訪神社例祭 甲府市住吉神社春季例祭 天津司神社例祭 八代町永井天神社春季例祭 美和神社例大

年男 年女 平成二十五年 癸巳



建部神社 宮司
石 原 貞 夫

還暦を迎えるに当り、暦の歴史を考えてみるに、暦の歴史は、統一国家の歴史でもある。中国に「観象授時」と言う言葉がある。これは国を統一した者が、暦を作成し人々に授ける事により服従関係を作りだした。日本に於いても同様であり、魏志倭人伝にある「正歳四時を知らず、但、春耕秋収を記し年紀となす」とあり、まだ暦はなく「日本書紀」に始めて、元嘉暦と儀鳳暦の施行の記述がでてくる。律令国家、幕藩制国家、明治政府と暦が、改暦され現在は、明治政府改暦のグレゴリオ暦を使用しているが、日本の文化、伝統の中には、十干五行を兄え弟とにあてはめ十二支と組合わせる事により六十年に一還わりする、この十干十二支も、生活の中にいきづき平成二十五年癸巳年男もその一つである。還暦が文化、伝統の中にも生きている例として、世界が注意を惹いた劇の能の演目に「鷲」があり、この舞は、元服前の少年、もしくは還

暦を過ぎた者しか演じる事が許されていない特殊な舞だ。これは還暦を過ぎた者、私も同じく新たに生まれ変わり少年の様に清らかな心を持ちつつ我人生を送りたいと思う。

七回目の年女癸巳年を迎えて

神明神社 欄宜
小 林 百合子

今、日本は政治、経済、教育、大震災等多難な内外共に厳しい状況の中に有ります。本年は第六十二回神宮式年遷宮の記念すべき年でございます。神職の家に生まれ、戦中戦後の激動時代女学校も勤労奉仕、学徒動員、勉強は出来ませんでした。父も軍輸送司令官でした。疎開の人が何世帯も居り、皆思いやり助け合い過しました。

昭和二十年七月六日、甲府空襲の折、市内は焼夷弾が投下され、母と共に消火につとめ、消し止めました。その時の焼夷弾の殻が六十余年を経て屋根裏より発見、感慨無量でした。

牧丘に嫁ぎ主人は病院の薬局長をしておりました。神職の資格を取り、地元の神社に奉仕さ

せて頂き、私も昭和四十七年資格を取得しました。五十三年主人が亡くなり、総代さん方の御依頼により奉仕させて頂く事になり、以来三十五年総代様方を始め地区の人々の御力を頂き勤めて参りました。山里の年に一度の祭典を賑やかにする為、籤びき、餅投、書画、俳句、短歌の出版を行っております。過疎が進み戸数減少でございますが幸い小康を頂き、神様の御恵祖先の恩と多くの方の御支援を深謝申し上げます。

表紙写真説明

酒折宮御祭神御鎮座壺千九百年奉祝記念大祭の前夜祭において、氏子子女による浦安の舞が奉納されました。

酒折宮では、月二回程のペースで浦安の舞の稽古をしています。現在は氏子の小学生六名が稽古に励んでおり、春と秋の祭典で舞を奉納しています。



祭 市川大門町表門神社御幸祭 南アルプス市藤田八幡社例祭 南アルプス市笠原神社例祭 市川八幡町御名方神社奉幸例祭	4・10	柴宮神社奉幸大祭 市川三郷町例祭 市川町諏訪神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭	4・12	武田神社例祭 甲府市宮前町八幡神社例祭 牧丘町黒戸奈神社例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭	4・13	大見見小室浅間神社例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭 市川町八幡神社奉幸例祭	4・15	飯田八幡神社例祭 甲府市中央甲斐奈神社例祭 甲斐國一宮浅間神社大祭 富士吉田市松尾神社例祭 甲府市高畑住吉神社例祭 大嶽山那賀郡神社例祭 都留市生出神社奥宮祭 新倉富士浅間神社奉幸例祭 酒折宮軍刀利神社例祭 御岳金櫻神社春季大祭 御岳金櫻神社春季大祭 御岳金櫻神社春季大祭 御岳金櫻神社春季大祭 御岳金櫻神社春季大祭 御岳金櫻神社春季大祭 御岳金櫻神社春季大祭	4・18	4・19	4・21	4・25	4・28	4・29
--	------	--	------	--	------	---	------	--	------	------	------	------	------	------



平成25年4月9日(火)
～6月2日(日)

東京国立博物館 平成館

開館時間 午前9時30分～午後5時*金曜日は午後8時まで、土・日・祝・
休日は午後6時まで開館*入館は閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日*ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館、
5月7日(火)は休館
主 催 東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション
特別協力 神社本庁
協 力 千年の森フォーラム
協 賛 大日本印刷、トヨタ自動車

神 殿 祈 年 祭 の お 知 ら せ

神殿祈年祭を下記の日程で斎行いたします。

記

1、日 程 2月8日(金)

神殿祈年祭 午後2時10分斎行

講 演 午後3時30分斎行

講師 陸上自衛隊 部隊訓練評価隊長
一等陸佐 菅 野 茂 氏
「領土防衛について」

神殿例祭、神職初会のお知らせ

神殿例祭並びに神職初会を下記の日程で斎行いたします。

記

1、日 程 1月24日(木)

神殿例祭 午前10時30分斎行

神職初会 午前11時30分開会

講 演 参議院議員 ありむら治子氏
「国政刷新について」

伊勢神宮「式年遷宮」パネル展開催

教化委員会では、本年度も第六十二回式年遷宮の啓発と広報を目的に写真パネル展の実施を企画しております。詳細な日程が決まりましたら御案内致します。

記

開催場所 岡島百貨店7階催事場

開催期間 三重県物産展(開催日未定)
に合わせて開催予定(入場無料)

靖國神社、山梨縣護國神社参拝旅行

神道政治連盟山梨県本部では、恒例となりました靖國神社、山梨縣護國神社参拝旅行を4月以降に実施するよう企画しております。詳細な日程が決まりましたら御案内致します。

神職研修会の案内

恒例の研修会を左記の日程で実施致します。

神職は生涯の研修を通じて己を磨くことにより氏子・崇敬者の信頼を得ることが出来ます。他支部の研修を受けることもできますので、積極的にご参加ください。

記

一、日程と会場

①甲府支部

三月十一日(月) 神社庁

②東山梨・東八代支部

二月二十四日(日) 山梨市民会館

③峡南・峡中・峡北支部

三月十六日(土) 神社庁

④南都留・北都留支部

五月二十八日(火) 牛倉神社

受付 八時三十分
開講 九時

